

学習の導入例

- 広島県が私たちにもたらす恩恵（自然や食べ物など）には何があるか？また、広島県に住んでいて良いと思うのはどのような点か？
- 大雨が降ったとき、広島県で起こる可能性のある災害には、どのようなものがあると思うか？
- 広島県で過去に起こった自然災害を知っているか？
- 地域で過去に起こった自然災害を調べてみたことがあるか？

学習の目標

自然災害が起こる原因や広島県の自然特性について理解したうえで、防災を学ぶ意識を高めること。

学習項目

- 1 大雨になりやすい原因
- 2 土砂災害とは
- 3 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由
- 4 浸水災害とは

学習の進め方

学習のねらい 演習問題との対応	学習動画・演習問題の学習内容における重要項目 ● 補足事項 ◆	学習内容を深めるための、生徒への投げかけ★
<p>1 大雨になりやすい原因</p> <p>演習1</p> <p>大雨になりやすい主な3つの原因と、その特徴について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大雨なりやすい主な3つの原因…停滞前線、線状降水帯、台風。 ● 台風の中心付近だけでなく、台風から離れた場所でも大雨になることがあることに注意する。 ◆ 台風に伴い、高潮による災害が起きることがあります。（平成16年台風第18号など。） ◆ 近年では、地球温暖化の進行によって、極端な気象現象が繰り返されている。（例：激しい大雨、猛暑日、熱波、干ばつなど。） 	<p>★ 大雨や台風の情報を知るためには、どうしたらよいか？</p>
<p>2 土砂災害とは</p> <p>演習2</p> <p>土砂災害の特徴や、土石流やがけ崩れ発生仕組みを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島県では、最近の事例だけでも、平成26年8月や平成30年7月の大雨による土砂災害によって、大きな被害が出ている。 ● 土砂災害の原因となる現象…土石流やがけ崩れ、地すべりがある。 ◆ 広島県は土砂災害の原因となる3つの現象のうち、土石流とがけ崩れが起きやすい。 ● 土石流やがけ崩れは、いつ発生するかの予想が難しいため、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域などにいる人は早めの避難が重要である。 	<p>★ 土砂災害とがけ崩れが発生する仕組みの違いが理解できたか？自分の言葉で友達や家族などに説明してみよう。</p> <p>★ 土砂災害による被害の写真を見て、何を感じたか、周囲の人と話し合ってみよう。</p>
<p>3 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由</p> <p>演習3</p> <p>広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ①広島県の面積の半分が、大量の水を含むと崩れやすい花崗岩の地質であること、②広島県は平地が少なく、山の近くを開発し、土地を作って建てられた住宅地が多いことから、土砂災害の危険を示す土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域の数が全国で最も多い。→約4万8000カ所 ● 上記の理由のため、広島県は雨の多い地域ではないが、土石流やがけ崩れが起きると、家や人命に被害が生じる深刻な土砂災害となりやすい。（全国で1年間に発生する土砂災害は、約1,400件といわれているが、平成30年7月豪雨では、広島県だけで1,242件もの土砂災害が起こった。） 	<p>★ 自宅周辺にはどのような土砂災害の危険性があるかを、土砂災害ハザードマップで確認したことがあるか？</p> <p>>>>自宅の災害の危険性の確認方法は、単元②を参照。</p>

学習のねらい 演習問題との対応	学習動画・演習問題の学習内容における 重要項目 ● 補足事項 ◆	学習内容を深めるための、 生徒への投げかけ★
<p>4 浸水災害とは</p> <p>演習4</p> <p>浸水災害の特徴や、洪水・内水氾濫発生仕組みを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水災害の原因となる現象…洪水（外水氾濫）と内水氾濫。 ● 「外水」と「内水」の言葉の定を知り、「洪水（外水氾濫）」「内水氾濫」発生仕組みの違いを理解できる。 ● 内水氾濫は近くに川がなくても起こることがある。雨水は、地下道やアンダーパスなど、低い土地に集まるため浸水に注意する。（万が一、避難する際には地下道やアンダーパスを避けることを意識できる。） ◆ 防災気象情報や河川の水位の情報、避難情報などには、以下の様な情報があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災気象情報（大雨注意報・警報、洪水注意報・警報など） ・ 河川の水位の情報（指定河川洪水予報〈△△川氾濫注意情報・警戒情報・危険情報・発生情報〉など） ・ 避難情報（高齢者等避難、避難指示など） >>>詳細は、単元③を参照。 ◆ 河川カメラが設置されている川は、河川の水位状況をパソコンなどから確認することができる。 	<p>★ 自宅周辺にはどのような浸水の危険性があるかを、洪水や浸水（内水）ハザードマップで確認したことがあるか？</p> <p>>>>自宅の災害の危険性の確認方法は、単元②を参照。</p>
<p>調べてみよう!</p> <p>あなたの住んでいる地域では、過去にどのような災害が起きましたか？</p> <p>実践</p> <p>自分の住んでいる地域で、過去にどのような災害が起こったかを知る。</p> <p>※災害を経験したことがあるなど、調べることがつらいと思われる生徒の場合は、無理をして取り組ませる必要はありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が暮らす地域に、過去に起きた自然災害の調べ方がわかる。 ● 上記を調べることで、災害を自分ごととしてとらえ、自然災害から身を守るために、防災を学ぶ意識を高めることができる。 	<p>★ 自分の住んでいる地域で、過去に災害が起こったことはあるか？また、それはどんな災害だったか？</p> <p>★ 「災害を調べてみてどのように感じたか?」「災害から身を守るためにはどうしたらよいか?」について意見を伝え合ったり、周囲の人と話し合ったりしてみよう。</p> <p>★ 自分の住んでいる地域に、過去に災害がなかった場合は、よく行く場所や親戚の家などで災害が起こったことがないかを調べてみよう。</p>